

滝川市指定文化財の活用について（北海道人造石油(株)滝川工場関連資料）

2021年に人造石油工場の関係資料が国立科学博物館より重要科学技術史資料に登録され、また、2022年は1942年に工場ですべて初めて石油が作られて80年の節目の年でもあったことから、滝川市指定文化財となっている「北海道人造石油(株)滝川工場関連資料」を活用した展覧会を開催した。

1. 事業名

「石油ヲ造レ」－ 東洋一の人造石油滝川工場 －

2. 趣 旨

滝川に突如出現した東洋一の化学工場・・・北海道人造石油株式会社滝川工場は、太平洋戦争前後に存在した化学工場です。戦時中、国策として「石炭から石油を造る」ため、現在の金額で1兆円とも言われる巨費を投じて建設されました。

工場敷地として158ヘクタールもの広大な面積を持ち、滝川の地に当時最先端の工場群が立ち並びました。日本中から優秀な頭脳が集い、最盛期には2,000人を超える従業員がいたことから「東洋一の化学工場」と呼ばれ、人造石油は、戦前から戦後にかけての滝川の歴史を語るうえで欠かすことのできないプロジェクトでした。

本特別展では、巨大な工場群を1/750スケールの模型で再現。当時の写真や資料などとともにふるさと滝川の大きな歴史の1ページを振り返っていただいた。

3. 期 間

令和4年6月18日(土)～8月21日(日)

▲休館日 月曜日（7/18は開館）／7月19日(火)／8月12日(金)

4. 会 場

美術自然史館 企画展示室

5. 入 場 料

一般 300円 高校生以下無料

6. 展示内容

- ①滝川工場ですべて初めて作られた石油の実物
- ②工場平面図等工場関連資料
- ③工場ですべて使われていた大時計、天秤、実験器具等
- ④工場空撮写真を拡大して展示
- ⑤工場群模型を作製・展示（元滝川工業高校教諭・秋元利次氏に作製を依頼）

7. 関連事業

- ①講演会「人造石油がもたらしたもの」

日時 6月18日(土) 10時30分～

場 所 美術自然史館 ロビー

講 師 滝川市郷土研究会参与 白井重有氏

- ②ウエルカムアートの展示

内 容 ・明苑中美術部による巨大画（縦1.8m×横4.6m）制作
・人造石油工場をテーマに作製、企画展示室入口に展示

③ギャラリートーク

日 時 7月9日(土) 13時30分～

場 所 美術自然史館 企画展示室

講 師 美術自然史館学芸員

④ワークショップ「石炭を燃やしてみよう」

日 時 7月30日(土) 13時30分～14時30分

場 所 美術自然史館 前庭

⑤講演会「日本遺産 炭鉄港サイドストーリー ―人造石油と滝川―」

日 時 8月21日(日) 10時30分～12時

場 所 美術自然史館 ロビー

講 師 滝川第二小学校教諭 大井勇輝氏

8. 入場者数

6,014人(うち有料入館者1,542人)

